

2019年1月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa  
Physical therapy Association  
News

P

1  
2019  
January  
No.278

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 森尾 裕志

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[30.12.1現在]

5,362名

## Contents

P1▶巻頭言 P2▶新年のご挨拶 P3▶県学会レター P5▶活動報告 P8▶研修会・講習会  
P10▶会長行動報告 P11▶information P12▶編集後記/原稿送付先

## 巻頭言



## 「みんなで築こう顔のみえる関係づくり」

第36回神奈川県理学療法士学会大会長

〔JMA本部医療技術部リハビリテーション科  
海老名総合病院リハビリテーション科 科長〕

湯田 健二

「連携」... 現在の社会情勢や、地域医療構想、地域包括ケアシステムを推進していく上で必要とされるキーワードのひとつであり、よく耳にする言葉です。本質を捉えることなくその言葉を発するだけでも、それとなく成り立ってしまう場面が増えてきてはいないでしょうか。言葉にすることは簡単ですが、実現させることは容易なことではありません。

なぜ容易なことではないのか... 連携を実現させるための必須項目は“相手を知る事”に尽きると思います。それがなくては実現されないキーワード。相手を知るための第一歩を踏み出すことを実践せずに連携の実現は難しいと思います。知らないうちにプライドという“壁”を作ってはいないでしょうか。その壁がある限り真の連携は実現しないでしょうし、ひょっとしたらそこが難しさの原因かも知れません。

カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 心理学



名誉教授のアルバート・メラビアンの研究結果から法則化されたメラビアンの法則によると、人の第一印象を決める要素は「見た目」・「声」・「話す内容」といわれています。視覚情報・聴覚情報・言語

情報です。また、その中で印象に影響を与える割合は、視覚情報55%、聴覚情報38%、言語情報7%といわれています。顔の見える関係がなく相手の印象がないままで連携を図ることなんて出来るはずがありません。

私が属している神奈川県県央ブロックでは、以前は患者さんや利用者さんの申し送りがあっても、サマリーのやり取りをするだけでお互いの事（顔）を全く知らない関係でした。そこには真の連携がなかったのではないかと考えます。現状を打開するために、今から12年前、ブロック内の病院に足を運ばせて頂き「顔の見える関係づくり」を提案いたしました。まずは顔を合わせる機会をつくろうと検討を進め、きっかけは懇親会でしたが、その後学術的な活動などを精力的に行いながら12年間その思いを貫き通した結果、今では顔の見える関係が構築され、真の連携が図れてきております。

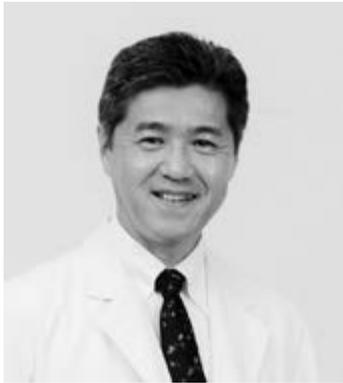
今年度開催予定の第36回神奈川県理学療法士学会は、我々県央ブロックが担当させていただきます。テーマは「みんなで築こう顔のみえる関係づくり」です。前述した社会情勢や、地域医療構想、地域包括ケアシステムを推進していく上で必要とされる「連携」を重視し、更に質の高い医療・介護を継続的に提供していくために今必要とされていることは「顔のみえる関係づくり」と考え、このようなテーマといたしました。企画内容も今までの学会とは趣向を変えたものも提案させていただきます。本学会に参加して共に顔の見える関係を作りませんか。そこからあらたな世界が見えてくるはずですよ。学会当日皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

## 新年の挨拶



## 新年のご挨拶

(公社) 神奈川県理学療法士会 会長 林 克郎



新年あけましておめでとうございます。

この原稿を書いているのは平成最後の年の瀬です。12月にもかかわらず夏日のような暑い陽気に樹木も動物も人間も大混乱です。果たしてこの正月はどんな正月になっているのでしょうか。

さて今年新しい年号となる大きな節目の年であり、2020オリンピックパラリンピックに向けいろいろな準備が進む年になります。これまでは霧の中をさまよっているような曖昧な情報しかなく、すっきりしない対応が続いていました。これからは今年がプレ大会の年でもあり、加速度的に様々な情報が発信されていくものと思われます。可能な限り会員の皆様に最新の情報をお届けしていきます。我々の業務にどのような影響が出るのかは不明ですが、一生に一度あるかどうかの国際的イベントが成功することを願っています。

次にこれまで(公社)日本理学療法士協会より卒後の研修制度が変わる旨の情報が何度か発信されてきましたが、12月の時点で会員の皆様にお伝えできる具体的な内容は公表されていません。しかし今年は、何らかの動き

が出てくることが予測されます。新しい卒後研修制度をスタートするには、指導者となる現在の専門・認定理学療法士の充実が欠かせないものと思われます。神奈川県内においてもまだまだ専門・認定理学療法士の会員は少なく新しい卒後研修制度のスタートを見据え、皆さんの自己啓発の励みになればと思います。

大きな変化の波は理学療法士の教育の世界にも押し寄せています。ご存知のように理学療法士の養成指定規則が2020年4月の入学生より変わります。臨床現場での一番大きな影響は、臨床実習の指導にあたり2日間の研修を受けた実習指導者がいなければならないこととなります。(公社)日本理学療法士協会主導でその対応を進めており、その研修会を本会で実施できるよう準備し、新年度の2019年度より臨床実習指導者研修会を開催する予定です。これについても逐次情報をお届けし、神奈川県内の理学療法サービスの提供に支障が出ないように、会員の皆様の積極的なご支援をお願いしていくこととなりますのでよろしくお願い致します。

最後に2019年は本会役員改選の年です。通常の業務に加わるたいへんな役目ではありますが、本会の運営に携わることで、県民と会員にとってより豊かな社会作りと、会員一人ひとりの充実した業務環境作りに、皆さんの力を発揮していただきたいと思います。

会員の皆さんにとって良い年となりますように。

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>



# 第36回神奈川県理学療法士学会のおしらせ vol.3

## —プログラムと準備の進捗状況—

担当：県央ブロック

第36回神奈川県理学療法士学会準備状況をお伝えいたします。今学会のテーマ「みんなで築こう顔の見える関係づくり」を合言葉に県央ブロックの強みを生かし、今学会を大成功させるべく準備に励んでおります。

県学会レターとして今回が学会開催前の最後の報告となります。たくさんの会員の方にご参加いただけますようよろしくお願い致します。

**【開催日】**平成31年3月24日(日)

**【開催場所】**パシフィコ横浜 4階-5階

### 学会テーマ

「みんなで築こう顔の見える関係づくり」

### 口述・ポスター発表134演題

今回の学会では会員の皆様より口述発表、ポスター発表合わせて134演題という多くの演題登録を頂きました。若手理学療法士の日ごろの疑問や課題、ベテラン理学療法士の最新の知見などを発表者とフロアが共有し、翌日からの臨床のために活発な意見交換ができるような場になればと思っております。

### その他の企画

#### 1) 県民公開講座

『めぐる季節の中で』

～私のリハビリテーション体験談～

気象予報士・防災士 木原 実氏

気象予報士・防災士としてテレビ等でご活躍されている木原実氏をお招きし、頸髄損傷術後の闘病生活やリハビリテーションの経験、後遺症を抱えながらの仕事復帰までの道のり等をご講演いただきます。我々理学療法士だけではなく県民の皆様にも大変興味深い内容だと思います。

#### 2) 【特別企画】

『理学療法士と出会って私の人生変わりました』

人工股関節全置換術を受けられた患者様と担当理学療法士をお招きし、それぞれの生の声をお聞かせ頂き皆さんと一緒に共有したいと思っております。患者様がどのような思いで手術に望まれたのか、また理学療法(士)を通してどのような心境の変化があったのか、その時理学療法士は何を考えたのか、どのように行動したのか、など患者様と理学療法士の両側面から考えられる企画となっております。

#### 3) 質を高めるための情報伝達 ～各病期で必要なこと～

急性期から在宅までの各病期の経験豊富な理学療法士をお招きして、それぞれの立場からどのような情報伝達が望ましいかをお話しいたします。この企画に参加すれば、病期のかかわり方がきっとわかるはずですよ。

#### 4) 地域で磨くPTスキル

～ブロック活動で広がる理学療法士の輪～

他の地域でのブロック活動をご存知ですか？

今回は、ブロック活動を精力的に取り組まれているいくつかのブロックに活動報告や取り組みを紹介して頂き、フロアからの質疑応答を受けて活発な議論ができればと考えております。

#### 5) 研究支援部主催講演

#### 6) 臨床実習教育部主催講演

### 事前参加登録について

学会当日、受付の円滑な運営のため、事前参加登録のご協力をお願いします。また事前登録をさせていただくことで学会参加費が割安になります。

1) 事前登録：2,000円

2) 当日参加：3,000円

登録は協会HP内の会員専用マイページから行うことができます。詳細は学会HPをご参照ください。

なお学会当日には会員証をお忘れなくお持ちください。

### その他、事前登録が必要となるもの

・キッズルーム(託児所)

初めての方でも安心してご利用いただける環境です。この機会にお子様のいる方も、学会参加をあきらめることなく、キッズルームをご利用して頂ければと思います。※詳細は学会HPをご覧ください、事前の利用申し込みをお勧めいたします。

### 最新情報は今後も随時、更新してまいります！

学会に関する新着情報は学会HPに随時更新してまいりますのでご確認ください。多くの県民の方や多職種の方にもご参加いただき、有意義な時間になればと思っております。ぜひ、身近な方々にもお声掛けいただけますようご協力の程よろしくお願い致します。

〈学会HP：https://congress-kpta.jimdo.com/〉

## 活動報告

# 県央ブロック・ライフサポート部合同研修会 ～妊娠中のからだの変化～

ライフサポート部 清川 恵子

会員ライフサポート部  
活動報告  
職場環境を考える

第65報

今回は“第60報”で紹介したレポートに続き、ブロック単位での交流の場・ネットワークの促進となることを目指した研修会を開催いたしました。第60報では、育休中の女性PTたちが立ち上げたグループと鎌倉ブロックがコラボして行われた産前・産後ケアセミナーについて紹介いたしました。この取り組みから、身近で働く方々と直接交流し就業継続の悩みが相談し合える場があることで、長く働きやすく、また復職しやすい環境づくりに繋がるのではないかとこの可能性が感じられました。そこで、この度は県央ブロックの方々にご協力をいただき、開催された様子をご紹介します。

■開催日：平成30年6月24日（日）

■テーマ：「医療職だからこそ知っておきたい！

妊娠中のからだの変化」

講師 よしかた産婦人科 山崎愛美先生

### ■目的と参加者

産休・育休中の人たちが集まりやすい内容とすることで、ブロック内の人たちと交流するきっかけをつくり、妊娠、産後の心身の変化について知り、お互いを思っで対応できる人が増え、就業継続の環境づくりへの一歩とつながることを目的としました。

参加者は女性26名、男性9名の計35名、年代は20代17名、30代15名、40代3名、経験年数は5～9年目が最も多く17名、勤務形態は常勤が32名、自宅会員が3名、お子さんについては、いるが12名、いないが23名でした。具体的には、子育て中の女性や妊娠中の女性、その女性たちをサポートしたい、またこれから出産・妊娠を経験するかも知れない未婚の女性、パパや管理職である男性、また会員以外の参加も可能だったため看護師1名の参加もありました。

### ■第1部：講演

「妊娠中のからだの変化」として産婦人科医院でPTとして働く山崎先生にお話をいただきました。先生も出産・育児の経験を持っているため、PT目線での詳しい内容は大変興味深いものでした。妊娠中の呼吸器・循環器の変化に始まり、妊娠初・中・後期に至るたくさんの生理的变化、さらに妊娠うつなどのメンタルヘルスについても教えていただきました。またそのような心身の変化の中、妊娠中の働き方とトラブルとして「立ったまま仕事をするが多かった」の項目に早産や流産が多いことを知らされました。講

演の後半は、それぞれPTだからこそ知っておきたい！妊娠による運動器の変化についてでした。その中で妊婦の負荷を体験してみようと妊娠36週、体重増加13kgを仮定し、体幹22.3°前屈してお腹に風船を入れ込んで、全員で会場内を歩きました。妊娠による不良姿勢は腰痛だけでなく靭帯への負荷による関連痛、恥骨結合の痛み、さらには臓器脱に至ることがあるとのことでした。知らなかったことを自ら反省しつつ、PTの教育過程に取り組む必要があるのではと個人的には考えさせられました。



妊婦体験の様子

### ■第2部：交流会

「安全に仕事するために必要なこと、問題になっていること、知りたいこと」について山崎先生にも加わっていただき、グループワークとディスカッションを行いました。以下はグループごとに発表された内容の一部です。

- ・ベッドサイドで座ってROMエクササイズするとお腹に圧がかかって大変だった。
- ・軽症者の担当だと屋外歩行が長くなって大変だった。
- ・上司と距離があって相談しづらい。
- ・切迫流産で入院、休むことをよく思わない人もいた。



- ・妻のつわりがひどくてそこで大変さが分かった。
  - ・線引きが難しい。どこまでできて何ができないのか。
- ディスカッションでは「お互い知識が必要」「妊婦側は状況を伝える」「コミュニケーションが一番大事」「話しやすい環境づくりが必要」という結論が共有されました。



交流会の様子

#### ■アンケート結果 ～自由記載を中心に～

Q 研修会の内容は役に立ちそうですか

非常に役立つ or 役立つ…35名 / 35名中

Q 研修会への意見

- ・嫁に対する対応や今後後輩や同僚が妊娠した際の対応を考えるきっかけになりました。
- ・今後、子供がほしいと思っているのでとても役に立ちそうな知識を教えていただきためになりました。友人や同僚にも指導できたら良いと思います。
- ・職場によって妊婦の配慮の仕方（考え方）に疑問に思う所があったので、今日の話、妊婦の変化を伝えて新たな案を提示できたらと思いました。

Q 交流会は有意義でしたか

非常に有意義 or 有意義…34名 / 35名中

Q 交流会への意見

- ・妊娠を経験された方の話を聞くことができ、今後の対応等考える機会になり、とても参考になりました。
- ・他施設の方と話しましたが、どれも同じようなことで悩んでいるのだなと思いました。それを知ることができただけでもとても有意義でした。

Q 今回の企画に対しての意見

- ・今後、スタッフの妊娠となったときにできるサポートと本人の求めるサポートに違いが生じると考えています。ピアカウンセリング的に妊娠を経験している方が悩みに答えていただける場があるとスタッフ本人も気持ちが良いかなと思います。
- ・山崎先生の講演をいろんなところでやっていただきたいです。
- ・普段から公に話すことができない話題になりがちなので、士会としてこのような機会が増えると良いと思います。

#### ■最後に

今回の参加者は35名中、県央ブロック所属の方が19名、それ以外が14名、所属なしが2名でした。半数以上がブロック内のPTということで、自分の働いている地域での交流が就業継続におけるの安心材料になり得ることが感じられました。

やはり正しい知識とお互い様と思ひ合える関係性の構築が健全な職場環境づくりには必要なのだと思います。全てのブロックごとでの開催を模索していき、当たり前の知識となっていくことを願います。

## 有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い、  
生活を手助けするものづくりを提供して参ります。

〒247-0006  
横浜市栄区笠間 3-40-5  
TEL 045-892-5424 FAX 045-892-5424  
www.Kimuar-gishi.co.jp

## 活動報告

# 第7回災害対策研修会が開催されました

(公社) 神奈川県理学療法士会災害対策委員会 災害対策委員会 西澤 茂子

平成30年12月2日（日）「横浜水道会館」において「災害対策委員会 第7回災害対策研修会」が開催されました。

第7回目となる今回は「災害時におけるリハビリテーション支援の実際と生活再建に向けた復興期における支援の在り方」について検討することを目的として研修会を開催しました。

「災害時における受援体制」や「受援力」がクローズアップされた「平成28年熊本地震」より2年が経過しましたが、その後も地震災害に限らない自然災害が頻発しています。大規模広域災害に備えるべく、災害時リハビリテーション、災害理学療法の役割を整備する必要があります。

講師には三宮克彦氏を迎えて、実際のリハ支援についてお話しいただきました。「平成28年熊本地震」時には、避難所等で災害時要配慮者を中心に支援するリハビリテーションチーム大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team；JRAT）の調整本部長としての実際の活動についてお話しいただき、「平成30年7月豪雨災害」時には、現地にてkumamoto JRAT事務局長として活動された際のチーム構成から1日の流れ、活動する中で感じた問題点などについて、現場の写真を踏まえてお話しいただきました。

午後は、これまで行ってきたアンケートを通して要望が聞かれていたシミュレーション訓練を初めて取り入れました。今回行った「避難所運営ゲームHUG（Hinanzyo Unei Game＝避難所運営ゲーム）」は避難所の出来事や避難者対応をゲーム感覚で模擬体験する演習です。避難者

の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲームです。次々に読まれるカードや出来事への対応で、どのグループも実際の避難所さながらの混乱が起きていました。

HUGの後に行った下田栄次災害対策委員長の講義「多職種連携における応急仮設住宅コミュニティのマネジメント」では、福祉避難所の開設や仮設住宅への支援に関する演習を実施、グループでのディスカッションも活発に行われていました。

県内会員だけでなく、県外の会員や他職種の方の参加もあり、40名を超える多くの方にご参加いただきました。また、ファシリテーターを務めて下さったエリアコーディネーターの皆様のご協力に、この場をお借りして御礼申し上げます。平成31年1月22日（火）には、横浜南部・西部ブロック災害対策キャラバンを開催します。さらに各地域にて具体的な災害対策・防災施策を実行していきたいと思っております。より多くの方々のご参加をお待ちしております。





# 「第9回JIMTEF災害医療研修アドバンスコース」に参加しました

県西ブロック災害対策エリアコーディネーター 唐木整形外科 矢部 則明

平成30年11月17～18日に「JIMTEF災害医療研修アドバンスコース」が開催され、同年9月に開催されたJIMTEF災害医療研修ベーシックコースに引き続き、今回も日本理学療法士協会から参加させていただきました。参加人数は全体では27都道府県から11団体と一般含めて68名（ベーシック：35都道府県から12団体と一般含め126名）、そのうち日本理学療法士協会からは17名（ベーシック：33名）の参加となりました。体育館と同じ構造の講堂にて、講義とグループ演習を交互に取り入れながらの研修が進められました。

## ◆講義について

2日間で7項目（災害医療コーディネート、スフィアプロジェクト、エコノミークラス症候群、熊本市における救護班等の調整と受援経験、災害時のコミュニケーションと課題、本部運営と記録、世界の災害医療の潮流）の講義があり、災害医療コーディネートでは調整本部の過剰業務負担を軽減するためのクラスターアプローチの考え方の必要性、熊本市の話では支援時には調整本部への配慮もして欲しいことや通常時では支援と同じくらい受援についても考えるべき等、今まで知らなかった貴重な話を聴講でき大変勉強になりました。

## ◆演習について

私のグループは、理学療法士2名、作業療法士1名、臨床心理士2名、臨床検査技師1名、鍼灸師1名の計7名で演習を行いました。大きく2つ演習があり、最初は「受援」のテーマで、発災した時には定時の仕事はどうなるか、各職種にて話し合いました。当グループでは、訪問リハビリ業務で被災された利用者の方が、ベッド上の生活が中心である場合どう支援すべきか、という事例をもとに議論しました。

次の演習では本研修のメインとなる「本部運営」を実施しました。発災直後の本部運営の状況を再現し、講師陣が細かい演習準備をして下さり、その結果、有意義な演習を体験することができました。本部運営では、本部長・副本部長・記録係・連絡係に役割分担（私は記録を担当）をして演習を進めていきましたが、各自が役割をしっかりとこなしていく事の重要性を認識した次第です。演習では情報が混乱することが多々あり、各役割のフォローを

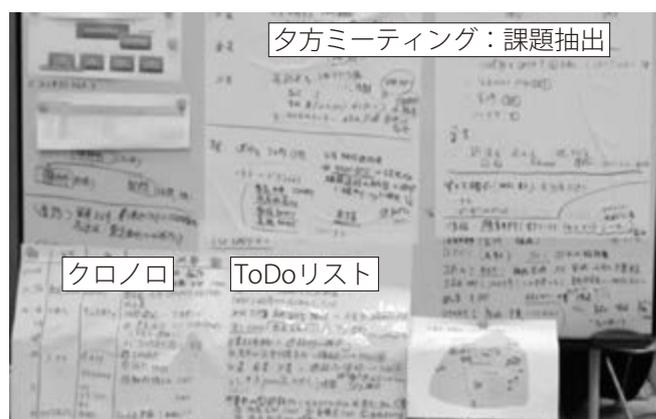
メンバーでしっかり行っていくことや本部長の適切な判断が重要であると痛感しました。当グループの本部長が混雑時に一旦作業を止め、メンバー内で情報の再整理を促した判断は大変勉強になりました。

## ◆今後の課題

訪問リハビリ等の在宅支援業務では、個人的にはケアマネや地域包括支援センターと、事前に発災時の対応を確認しておく事が大切だと思っていますが、現状では発災時の支援体制は全く決まっておらず、今後の課題として取り組んでいく必要があると考えています。

また県西ブロックの災害対策活動にて是非、今回習得した知識や情報を活かしていきたいと思えます。

最後に、アドバンスコース研修で講義・準備をいただいた先生方、ファシリテーターの先生方、日本理学療法士協会、神奈川県理学療法士会に心より感謝の言葉を申し上げます。



図はホワイトボードの記録内容（クロノロ、ToDoリスト、課題抽出等）



## 研修会・講習会

# 平成30年度 第4回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度は、平成30年度 第4回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

本会で実施される本年度最後の新人教育プログラム研修会です。

- 開催日：平成31年2月3日（日）  
受付開始時間 9：00～（予定）
- 開催地：神奈川県立保健福祉大学 講堂
- 交通：京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分  
（案内図参照）。
- 受講費：本会会員 1,000円  
（受講単位数に関わらず一律1,000円）  
他士会会員 4,000円  
（受講単位数に関わらず一律4,000円）

### 5. 内 容：新人教育プログラム研修会

予定時間	研修会テーマ	取得単位
9：30-10：30	A-1 理学療法と倫理	1
10：35-11：35	A-2 協会組織と協会学習システム	1
11：40-12：40	A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む）	1
昼食		
13：30-14：30	A-4 人間関係および接遇（労働衛生含む）	1
14：35-15：35	A-5 理学療法における関連法規（労働法含む）	1
15：40-16：40	C-1 神経疾患の理学療法	1

- 申込方法：事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。

**当日受付は一切できかねます。**

登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。**個々のテーマは独立した研修会です**ので各々の登録が必要になります。

受講登録後の自動返信メールをお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。

自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報をお願いいたします。本研修会では、受付の際に登録の完了が確認できなければ受講をお断りしております。

- 申請テーマのキャンセル：  
事前登録で申請したテーマ以外への変更および

**び当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。**

やむを得ずキャンセルしなければならない場合は、本会事務局（office@pt-kanagawa.or.jp）へ連絡をお願いします。

- 講義資料：日本理学療法士協会HPの「マイページ」より各々の受講テーマをダウンロードしご持参下さい。会場での用意はございません。
- 定 員：450名（先着順）  
新制度移行に伴い込み合うことが予測されます。日程に余裕をもってお申し込みください。
- 申し込み期間：  
申込開始日：平成30年12月24日（月）正午～  
申込終了日：平成31年1月28日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。

注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。

注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。

注) 研修終了時に**改めて終了受付があります**。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので注意してください。

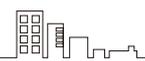
注) 入会手続き後、協会会員証が届いていない方の受講も可能です。受付時に自動返信メールをご提示ください。

### お問合せ先

公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp





## ●他団体

### 発達からみる動作の回復過程 発達段階と動作の回復段階の共通点を見つけてリハビリの臨床に活かす

テーマ：発達の段階を学び、対象者の回復の段階に合わせた動作を選択、アプローチを身につける

内容：発達の段階に必要な機能について、発達の段階が必要な理由、動作の獲得の過程と発達の共通点、発達段階とその時に必要な機能、背臥位、腹臥位、側臥位、寝返り、坐位、立位、歩行、必要な評価とアプローチ方法

開催日時：平成31年2月16日(土)10:00~16:00

会場：※1参照

受講料：7,900円(税込)

講師：大塚 久 理学療法士

定員：24名(先着締め切り)

注意事項：お申込みは下記セミナーHPよりお願いします。  
<https://lts-seminar.jp/development-2/>

お問合せ先：※2参照

### 脳卒中片麻痺の促通と分離法 ブルンストロームステージテストを利用した分離と促通の方法を学ぶ

テーマ：麻痺の回復過程に合わせた分離と促通法を学び効率的な介入の方法を身につける

内容：脳卒中の疫学・促通と分離について・麻痺の促通法・麻痺の分離法・ブルンストロームステージの確認・関節モビライゼーション・筋膜リリース・ハンドリング法

開催日時：平成31年2月17日(日)10:00~16:00

会場：※1参照

受講料：7,900円(税込)

講師：加藤 淳 作業療法士

定員：30名(先着順)

注意事項：お申込みは下記セミナーHPよりお願いします。  
<https://lts-seminar.jp/paralysisseparation/>

お問合せ先：※2参照

### 実践！ポジショニング・シーティング法 ポジショニング・シーティングの基礎を学び、明日の臨床で実践する

テーマ：ダンボール・雑誌・タオルなどすぐに手に入るものを使ったポジショニング、シーティングを学び、対象者に合わせた姿勢を維持できるようにする

内容：ポジショニング・シーティングの目的・ポジショニングの方法・シーティングの方法・ポジションを取るために必要な機能の評価・触診・ポジショニング・シーティングを病棟、自宅などで行ってもらうための伝達方法など

開催日時：平成31年3月16日(土)10:00~16:00

会場：※1参照

受講料：7,900円(税込)

講師：加藤 淳 作業療法士

定員：30名(先着順)

注意事項：お申込みは下記セミナーHPよりお願いします。  
<https://lts-seminar.jp/positioning>

お問合せ先：※2参照

### 【触診が苦手な方限定】ROMexを効率的に行うための触診・アプローチ法セミナー ROMexの基礎を学び動作・ADLまでつなげる方法を学ぶ

テーマ：end feelの分類と感じ方を学び制限因子に合わせた評価・アプローチの順番・方法を学ぶ

内容：ROMexに必要な評価、ROMexに必要な触診・アプローチ法、関節モビライゼーション、筋膜リリース、ホールド&リラックスを利用したストレッチ法

開催日時：平成31年3月17日(日)10:00~16:00

会場：※1参照

受講料：7,900円(税込)

講師：大塚 久 理学療法士

定員：30名(先着順)

注意事項：お申込みは下記セミナーHPよりお願いします。  
<https://lts-seminar.jp/rom/>

お問合せ先：※2参照

※1 ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー  
〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内

※2 療法士活性化委員会 事務局加藤まで lts-info@lts-seminar.jp

# 研修会・講習会



## ●他団体

### 治療6ヵ月月待ちの理学療法士が実践している痛みを取るための評価と治療技術 網羅しておきたい臨床でよく見られる代表的疾患の治療技術を1日で教えます！

**テーマ：**治療技術に自信を持って患者と向き合おう  
**内容：**あなたは“痛み”を有する患者が来たときに、「自分を変えることができる！」という自信を持っているでしょうか。もしあなたがそういった自信を持っていないなら、まずは本当に痛みが変わるという経験をすることが重要です。そのためにまず必ず網羅しておきたい臨床でよく見られる代表的疾患の治療技術を1日で教えます。明日からすぐに使える技術が満載です。絶対に参加して良かったと思うセミナーになると思います。

**開催日時：**2019年2月23日(土)10:00~16:00  
**会場：**損保会館  
**受講料：**7,000円(税込)  
**講師：**園部 俊晴(コンディショニング・ラボ所長)  
**定員：**200名  
**注意事項：**お申し込みは下記セミナーHPよりお願いします。  
<https://20190223undouki.peatix.com/>  
**お問合せ先：**臨床家のための運動器研究会事務局まで  
<https://undouki.com/contact/>

### 糖尿病みるべきことするべきこと 糖尿病の理解と介入の実際

**テーマ：**糖尿病に関する最新知見の理解と臨床応用を習得する  
**内容：**糖尿病は高齢者の罹患が非常に多いだけでなく、近年多くのエビデンスが蓄積され病態の理解も変わってきています。また脳血管疾患や変性疾患など様々な疾患の根底に大きく影響しています。

**受講料：**1,000円(当日会場にて現金でお支払いください)  
**講師：**野崎 礼 先生(梅田病院リハビリテーション科副主任)  
**定員：**20名程度(先着順)  
**注意事項：**詳細・申し込みはホームページより「コウセラ」で検索)  
<https://koutheraken.jimdo.com/>  
**お問合せ先：**[koutheraken@yahoo.co.jp](mailto:koutheraken@yahoo.co.jp)

**開催日時：**2019年3月15日(金)19:00~21:00(受付18:40~)  
**会場：**鎌倉芸術館(JR大船駅 徒歩10分)  
神奈川県鎌倉市大船6-1-2

### 脳卒中リハに活かす 脳機能とハンドリングの基礎 脳卒中患者の脳機能理解と基本動作に対するハンドリング

**テーマ：**脳機能を知り基本動作を中心としたハンドリングに活かす  
**内容：**今回のセミナーでは「脳機能を知り基本動作を中心としたハンドリングに活かす」をテーマに脳卒中リハのハンドリングを包括的に考えていきます。

**受講料：**7,000円  
**講師：**加藤 渉 先生(多摩川病院リハビリテーション科副主任・エモーショナルリハビリテーション研究会 エモリハー 代表)  
**定員：**30名(先着順)  
**注意事項：**詳細・申し込みはホームページより「コウセラ」で検索)  
<https://koutheraken.jimdo.com/>  
**お問合せ先：**[koutheraken@yahoo.co.jp](mailto:koutheraken@yahoo.co.jp)

**開催日時：**2019年3月31日(日)10:00~16:00(受付9:30~)  
**会場：**鎌倉芸術館(JR大船駅 徒歩10分)  
神奈川県鎌倉市大船6-1-2



月	日	内容	場所	
9月	8日(土)	東京都社会設立50周年記念式典	新宿京王プラザホテル	
	12日(水)	地位向上委員会会議	本会事務所	
	23日(日)	米沢先生お通夜参列	小西斎場	
	24日(月)	日本理学療法士協会役員報酬等委員会	田町カンファレンスルーム	
	26日(水)	神奈川県スポーツ局打合せ	本会事務所	
	26日(水)	第3回東京オリンピックパラリンピック準備委員会	本会事務所	
	27日(木)	第4回事業運営会議	本会事務所	
	29日(土)	関東甲信越ブロック協議会士会長会議	栃木県総合文化センター	
	29日(土)	栃木県理学療法士会設立50周年記念式典	宇都宮東武ホテルグランデ	
	30日(日)	全国理学療法士連盟田中まさし氏応援	栃木県総合文化センター	
	10月	6日(土)	第7回常任理事会	本会事務所
6日(土)		日本理学療法士協会理事会傍聴	TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター	
7日(日)		日本理学療法士協会組織運営協議会	TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター	
9日(火)		神奈川県理学療法士連盟応援作業	本会事務所	
11日(木)		地域組織対策本部ブロック代表会議	情報科学専門学校	
17日(水)		病院医療関係団体協議会	ホテルモントレ横浜	
24日(水)		医療専門職連合会公開セミナー	横浜情報文化センター	
25日(木)		第5回事業運営会議	本会事務所	
11月		1日(木)	第8回常任理事会	本会事務所
		9日(金)	東京オリンピックパラリンピック準備委員会	本会事務所
	17日(土)	PT協会スポーツ理学療法研修会応用編運営	横浜リハビリテーション専門学校	
	18日(日)	表彰委員会	本会事務所	
	20日(火)	表彰委員会	本会事務所	
12月	22日(木)	第3回理事会	本会事務所	
	6日(木)	第9回常任理事会	本会事務所	

## information



## 日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。

\*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

\*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

## 【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会  
事務局長 相川 浩一

## 楽天カードへの手続きはお済みですか？

## ☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
  - 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
  - 書籍購入（一部割引）等が可能となります。
- \*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

## ～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

\*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

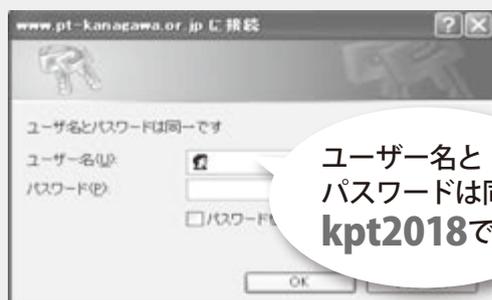
## 楽天カード更新に伴うマイページ情報更新はお済みですか？

\*マイページに登録されている楽天カード情報と、お手元のカード番号・有効期限・名義が相違していないことをご確認ください。

\*楽天カードの有効期限切れに伴い、新しいカードがお手元に届いた方は、マイページのカード情報の更新をお忘れなく行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会  
事務局長 相川 浩一

## アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります  
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

## 編集後記

いよいよ平成が終わり一つの節目を迎えようとしています。私の人生の大半が平成時代でした。平成の出来事と私の青春はリンクする部分が多く、理学療法士になったのも平成時代です。人生も理学療法士としても経験値は浅いですが、平成時代が終わりを迎えようとしていることに感慨深いものがあります。振り返るとそこには多くの変化がありました。特に生活スタイルは大きな変化をしたのではないのでしょうか。料理は包丁や火を使わなくてもできますし、買い物は家まで届けてくれるようになりました。夜の寝ている間に、部屋の掃除や洗濯物は乾燥まで自動でやってくれる家電が普及しています。テレビやエアコンのコントロール、音楽再生や天気予報を知ることが、言葉で操作できるようになってきました。離れた場所にも顔をみて話ができるし、連絡を取り合うことは非常に簡単になりました。時代は変わり続ける中で、生活スタイルの変化は理学療法士としての私にとっても節目を迎える良いきっかけになりました。世の中の必要に応じて変化できる理学療法士であると同時に、世の中の必要をいち早くキャッチして発信していける個人でありたいと身の引き締まる思いです。これから迎える新しい時代の中で皆様はどのような道標を残すのでしょうか。3つ目の時代を迎える私も新たな気持ちで頑張りたいと思っています。

(中村)

次号の原稿締め切りは**2019年3月6日**です。

湘南医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 (ニュース編集部宛)

**news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp**

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

### ◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：露木 昭彰 (足柄リハビリテーションサービス)

部長：森尾 裕志 (湘南医療大学 保健医療学部)

部員：中尾 陽光 (湘南医療大学 保健医療学部)

下田 栄次 (湘南医療大学 保健医療学部)

中村 壽志 (湘南医療大学 保健医療学部)

### ★情報掲載採用基準変更のお知らせ★

研修会・講習会等のイベントにご利用いただいております。情報掲載採用基準につきまして2019年1月1日より、掲載料および掲載の採用基準を変更することとなりました。ホームページとニュースで、別々の掲載料・基準となります。ご理解の程よろしくお願ひ致します。

詳細につきましては、本会HP「情報掲載のお申込み」をご確認の上お申し込みください。

ウェブサイト管理部長 中野 靖士

ニュース編集部長 森尾 裕志

# 訪問看護とリハビリの 東京城南4区実績No.1!! ソフィア訪問看護ステーション

厚生労働省 介護保険事業状況報告調べ (平成30年2月5日発表)

ソフィア訪問看護ステーション (30事業所)  
ソフィアサービス (4事業所)  
ソフィアケアプラン (8事業所)  
定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (2事業所)  
医療法人社団ホームアレー運営支援 (2事業所)  
行政委託 介護予防事業教室運営 (平成18年～)

訪問看護と在宅医療の教育・研修に特化したWebサイト



訪問看護 エデュケーションパーラー  
EDUCATION PARLOR

<http://www.hokan-e-parlor.com/>

訪問看護 パーラー

検索